

ひまわり通信 平成24年度

★新しく着任された先生★

与野 あかね 先生 利根川 ゆかり 先生



★退職された先生★

櫻井 貴恵 先生



<ひまわり会 総会 会長挨拶>

今年の3月に卒業された皆様も職場に慣れ、夜勤をされている方もおられるかと思います。優しい先輩や厳しさの中に愛のある上司に囲まれ、日々の業務にあたっていると思います。多数の卒業生を輩出している同校は、近隣地域に多くの「先輩」がいらっしゃいます。実習病院も増えていると聞き、そのような中で上尾看護専門学校の学生との「愛」ある関わりを持ち向日葵会の結束を広めていただきたいと思います。是非とも後輩の学生が実習していたならば一言声をかけていただくと声をかけられた学生も次の後輩への声掛けの輪を踏襲していくのではないかと思います。このように向日葵会の輪が更に広がっていければと考えております。

第10回生 佐藤英司

<第101回看護師国家試験>

平成24年2月19日第101回看護師国家試験が行われた発表が3月26日にありました。先生方のご指導の下、今年は41名受験し39名が合格しました。

3年間の努力と周囲の皆さんの支えにより、看護師としての第1歩が踏み出せました。受験した皆さんお疲れ様でした。

＜平成23年度 会計報告＞

年月日	内容	入金	出費	残金
	前年度繰越機金			1,126,655
平成23年 2月	20回生入金	190,000		1,316,655
	入学・卒業式花代		20,000	1,296,655
	文具代		10,000	1,286,655
	ファイル		525	1,286,130
	宛名ラベル		7,000	1,279,130
	切手代		64,000	1,215,130
	葉書代		70,000	1,145,130
	入出金合計	190,000	171,525	
	残金（再掲）			1,145,130

会計監査の結果、適正妥当であることを認める

平成24年4月

会計監査 第10回生 林 愛 印

＜24年度 予算案＞

内 容	出 費
入学・卒業式花代	20,000
お祝金等	30,000
文具代	26,000
通信費	100,000
予算案合計	176,000

<石田副校長のお話し>

同窓会の皆さんへ

副校長 石田 文代

今年は、冬の防れの速さに驚いているあいだに、もうクリスマス、そして年の瀬も近づいてきました。皆さんお元気にご活躍のことと思います。

学校は今、22回生の国試が近づき、23回生は実習が本格的に始まりました。さらに来年の入学生（25回生）を迎えるための入学試験と、相変わらずあわただしい日々です。

卒業生には、様々な場面で多様なご支援を頂いて、本当に感謝しております。卒業生の職場での評価も高く、皆さんの看護の現場への質の高い貢献が、私達教職員の励みとなり、また在学生の目標ともなっています。どうぞ皆さん1人1人が、当校の卒業生として期待される職責を存分に果たし、またをそこに繋がる人達へ思いをさせて頂ければと願っています。

現在、看護の現場で働いている皆さんは、急激な高齢社会の到来を身を持って感じていることと思います。また多くの方達は家族の介護の問題に直面していることでしょう。広く世界に目を向けても、ほとんどの国が経験したことのない高齢社会に、日本は早々と突入し、高齢者人口が最多となる2025年に向かって歩を進めています。

一方、戦争や飢饉にみまわれる貧困問題を抱えたアフリカの地域では、平均寿命が50歳に届かない国や、乳幼児死亡率が103（出生千対）にも上る国もあるのです。

東日本大震災の復興・原発事故の後処理もままならないなか、昨日の総選挙では政権が交代するという劇的な変化が起こりました。

このような社会の変化を背景に医療福祉の現場も大きく変わろうとしています。国の政策である医療福祉の場を在宅に転換させる方向は、臨床現場で働く看護職に多くのジレンマをもたらしています。介護力のない家族のもとに帰らなければならない方、入院期間の短縮により今後に不安を抱えて退院される方、また延命治療への意思決定を迫られる方等、

現実に目をやれば、きりなくあがる患者様やご家族の不安や悩みに、日々向き合う看護師もまた出口のない不安全感の中で仕事をしているのが現実です。

しかしながら、この頃改めて思うことは、やはり看護の仕事は素晴らしいということです。私も看護の教育にかかわって大変長い時間が過ぎましたが、経済効率を優先する社会の中に、「人を助ける」、「ケアする」という、きわめて人間らしい仕事に身を置くことを幸せなことだと感じています。

皆さんが、看護の目標である『その人らしく生きることを助ける』働きを、厳しい現実の中にあっても追い求めてゆけるよう、看護師としての出発地である母校からお祈りしています。

2012年12月

冬の日ざしが明るい教員室にて